

(様式2)

授業科目の概要について

学校名:	秋田県立大学
課程名:	スマート農業指導士育成プログラム

要件該当授業時数:	67.0時間
要件該当授業時数/総授業時数:	92%

分類	科目名	配当年次	授業時数	企業等	双方向	実務家	実地	担当教員・実務家名	教員・実務家の所属
必修	スマート農業総論①		1.5/1.5			○		梅本雅	農業・食品産業技術総合研究機構
必修	スマート農業総論②		0/1.5					松本賢英	農林水産省農林水産省 大臣官房政策課技術政策室
必修	スマート農業における技術要素①		1.5/1.5			○		鈴木一哉	秋田県立大学システム 科学技術学部(実務家教員)
必修	スマート農業における技術要素②		0/1.5					猿田和樹	秋田県立大学システム 科学技術学部
必修	スマート農業における技術要素③		0/1.5					景山陽一	秋田大学大学院 理工学研究科
必修	スマート農業における技術要素・演習		3/3			○		猿田和樹 石井雅樹	秋田県立大学システム 科学技術学部(実務家教員)
必修	ロボット農機総論		1.5/1.5			○		西村洋	秋田県立大学アグリノベーション 教育研究センター(実務家教員)
必修	ロボット農機概論①<水田作>		1.5/1.5			○		高橋太陽 藤井悠	ヤンマーアグリジャパン 株式会社東北支社
必修	ロボット農機演習<水田作>		6/6			○		木下武志	株式会社クボタ
必修	ロボット農機概論②<施設園芸>		1.5/1.5			○		西野秀幸	株式会社デンソー
必修	ロボット農機概論③<畜産>		1.5/1.5			○		渡邊潤	秋田県立大学アグリノベーション 教育研究センター(実務家教員)
必修	圃場水管理作業の自動化		1.5/1.5			○		若杉晃介	農業・食品産業技術総合研究機構
必修	圃場水管理システム概論①<水田>		1.5/1.5			○		島村博	ベジタリア株式会社
必修	圃場水管理システム概論②<露地・施設園芸>		1.5/1.5			○		喜多英司	株式会社ルートレック・ネットワークス
必修	農業用ドローン総論		0/1.5					山本聡史	秋田県立大学生物資源科学部
必修	農業用ドローン概論①		1.5/1.5			○		鳥潟與明	東光鉄工株式会社
必修	農業用ドローン演習①		3.5/3.5		○	○		鳥潟與明	東光鉄工株式会社
必修	農業用ドローン概論②・演習②		3.5/3.5		○	○		米山雅宗	株式会社池田
必修	農業用ドローン・リモートセンシング概論		1.5/1.5			○		西村洋 山本聡史	秋田県立大学アグリノベーション 教育研究センター(実務家教員) 秋田県立大学生物資源科学部
必修	農業用ドローン・リモートセンシング演習		3/3		○	○		西村洋 山本聡史	秋田県立大学アグリノベーション 教育研究センター(実務家教員) 秋田県立大学生物資源科学部
必修	農業データ利活用総論		1.5/1.5			○		林和信	農業・食品産業技術総合研究機構
必修	農作業データ利活用概論①		3/3			○		担当者	JA全農スマート耕種総合対策 部スマート農業推進課他
必修	農作業データ利活用演習		3/3			○		担当者	JA全農スマート耕種総合対策 部スマート農業推進課他
必修	農作業データ利活用概論②		1.5/1.5			○		藤原拓真	ウォーターセル株式会社
必修	農業機械データ利活用概論		1.5/1.5		○	○		木下武志	株式会社クボタ
必修	農業機械データ利活用演習		1.5/1.5	○	○	○		木下武志	株式会社クボタ

必修	農業環境データ利活用概論		1.5/1.5			○		持田宏平	株式会社セラク
必修	農業環境データ利活用演習		7.5/7.5		○	○		みどりクラウド事業部	株式会社セラク
必修	農業経営データ利活用概論		1.5/1.5			○		生駒祐一	テラスマイル株式会社
必修	農業経営データ利活用演習		1.5/1.5		○	○		生駒祐一	テラスマイル株式会社
必修	技能継承とスマート農業		1.5/1.5			○		担当者	NECソリューションイノベータ株式会社
必修	スマート農業普及論①		3/3		○	○		福田浩一	株式会社日本農業サポート研究所
必修	スマート農業普及論②		1.5/1.5		○	○		上田賢悦	秋田県立大学生物資源科学部(実務家教員) 民間企業 農業普及組織
必修	スマート農業普及論③		1.5/1.5		○	○		上田賢悦	秋田県立大学生物資源科学部(実務家教員) 県内農業経営体
合計:	34科目					73			時間

* 申請する課程で受講可能な全ての科目について記入してください。

* 「企業等」、「双方向」、「実務家」、「実地」の欄に○を付けた科目については、要件に該当することを明記したシラバスを添付してください。